

2023年

2023年8月7日

北海道地方 7月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 暖かい空気が流れ込みやすく、晴れた日が多かった太平洋側で記録的な高温。 —

7月は、太平洋高気圧の縁を回って南西から暖かい空気が流れ込みやすく、全道的に気温がかなり高かった。特に太平洋側では晴れた日が多く日中に気温が上がりやすかったため、太平洋側と、太平洋側を含む北海道地方でも、月平均気温の平年差は1946年の統計開始以降、7月として最も高い記録となった。

北海道地方：月平均気温はかなり高く、月降水量は平年並、月間日照時間は多かった。

日本海側：月平均気温はかなり高く、月降水量は平年並、月間日照時間は平年並だった。

オホーツク海側：月平均気温はかなり高く、月降水量は平年並、月間日照時間は平年並だった。

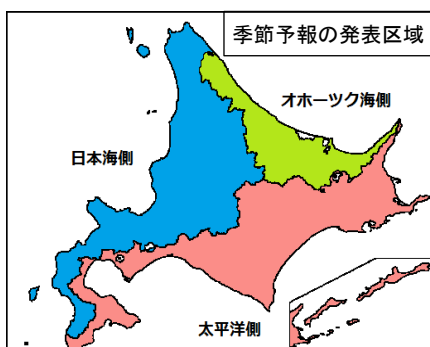
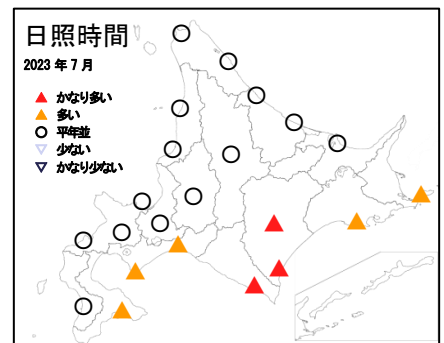
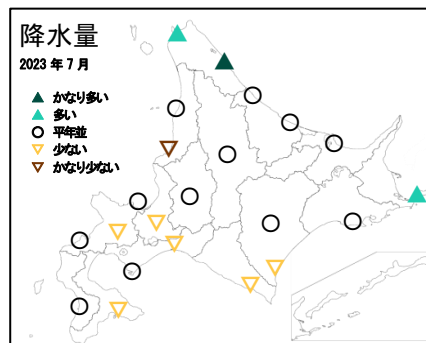
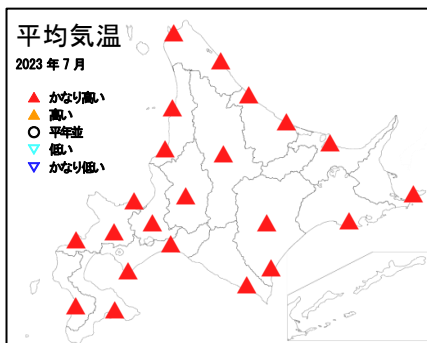
太平洋側：月平均気温はかなり高く、月降水量は平年並、月間日照時間はかなり多かった。

上旬：気圧の谷や湿った空気の影響を受ける日が少なく、高気圧に覆われた日もあったため、晴れた日が多かった。このため日照時間は多く、降水量は日本海側と太平洋側で少なかったが、低気圧の影響でまとまった雨の降ったオホーツク海側では多かった。低気圧の通過後に寒気の影響を受けた日もあったが、暖かい空気に覆われた日が多かったため気温は高く、北海道地方及び太平洋側でかなり高かった。

中旬：低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。このため降水量は多く、日照時間は北海道地方及び日本海側とオホーツク海側でかなり少なかった。寒気の影響を受けた日もあったオホーツク海側では平年並だったが、暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方及び日本海側と太平洋側では気温がかなり高かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため日照時間は北海道地方及びオホーツク海側で多く、太平洋側ではかなり多かった。また、降水量は北海道地方及び日本海側と太平洋側で少なかった。高気圧に覆われて晴れた日が多かったことに加えて、暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高く、北海道地方及び太平洋側の旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降7月下旬として最も高い記録となった。また下旬の期間中に、11のアメダス地点の日最高気温が、7月として最も高い記録となった（根室で7月30日に33.1℃など）。

階級分布図



月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.9	++	87	0	116	+
日本海側	+2.4	++	80	0	101	0
オホーツク海側	+2.8	++	122	0	104	0
太平洋側	+3.6	++	78	0	140	++

旬の統計値(地域平均)

上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.4	++	73	0	132	+
日本海側	+2.0	+	43	-	121	+
オホーツク海側	+1.8	+	173	+	117	+
太平洋側	+3.1	++	62	-	154	+

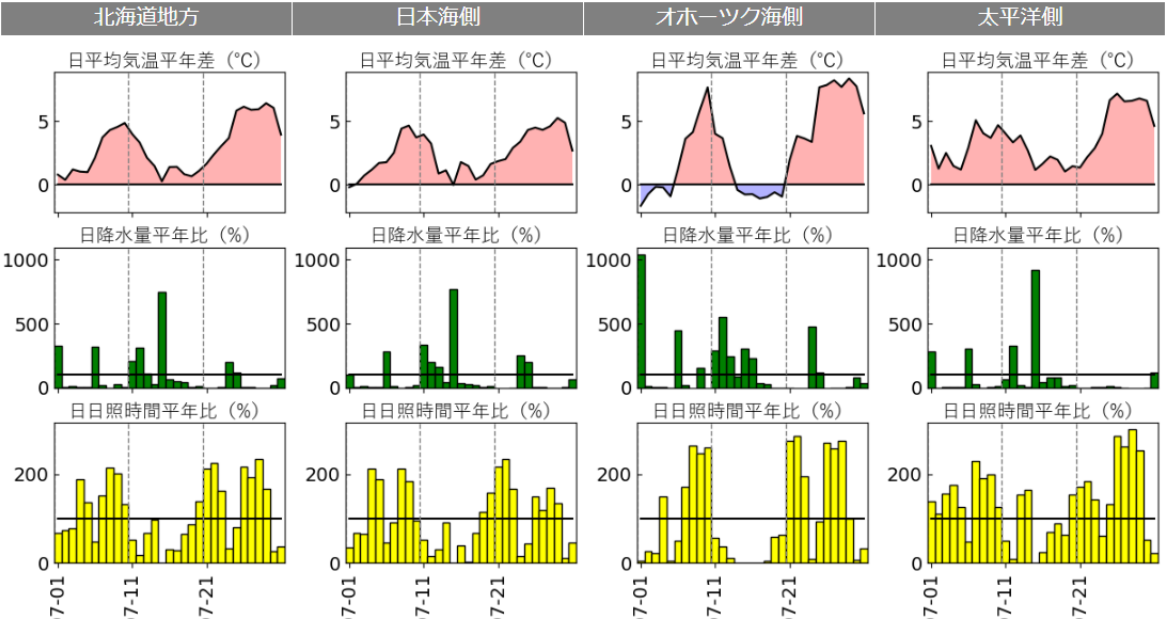
中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.7	++	167	+	60	--
日本海側	+1.6	++	166	+	57	--
オホーツク海側	+0.5	0	175	+	24	--
太平洋側	+2.4	++	163	+	80	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+4.5	++	34	-	152	+
日本海側	+3.5	++	43	-	122	0
オホーツク海側	+5.8	++	58	0	163	+
太平洋側	+5.0	++	12	-	183	++

注)・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

気象経過図



月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	23.8	+2.7	++	61.5	68	—	171.6	102	0
稚内	19.6	+2.4	++	145.5	144	+	137.7	96	0
北見枝幸	19.4	+2.8	++	222.0	178	++	133.3	108	0
旭川	23.0	+2.3	++	118.5	92	0	159.1	100	0
留萌	21.8	+2.2	++	42.5	37	--	179.9	106	0
羽幌	21.6	+2.0	++	118.5	91	0	151.7	90	0
岩見沢	22.9	+2.7	++	82.5	74	0	158.5	101	0
倶知安	21.9	+2.2	++	60.0	59	—	140.5	97	0
小樽	22.7	+2.5	++	68.0	73	0	175.5	107	0
寿都	22.1	+2.6	++	78.0	83	0	160.3	103	0
網走	20.2	+2.6	++	82.5	96	0	168.2	100	0
紋別	20.0	+2.9	++	119.5	110	0	148.8	104	0
雄武	19.5	+3.0	++	117.0	102	0	139.5	105	0
釧路	20.0	+3.9	++	113.5	94	0	167.4	141	+
根室	19.0	+4.1	++	142.5	124	+	148.6	127	+
帯広	22.8	+3.9	++	77.5	72	0	177.4	146	++
広尾	21.0	+4.4	++	98.0	59	—	172.5	159	++
室蘭	21.8	+3.3	++	132.0	83	0	183.4	138	+
苫小牧	21.4	+3.2	++	90.0	55	—	147.6	137	+
浦河	20.3	+2.6	++	101.5	72	—	175.8	152	++
函館	23.3	+3.0	++	79.5	64	—	162.0	121	+
江差	22.8	+2.2	++	103.5	82	0	146.7	106	0

注）・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「）」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
7月	月平均気温の高い方から	第1位	岩見沢	22.9℃	+2.7℃	22.9℃(2021)	1947
			帯広	22.8℃	+3.9℃	22.3℃(1924)	1892
			釧路	20.0℃	+3.9℃	19.2℃(2022)	1910
			根室	19.0℃	+4.1℃	18.3℃(1879)	1879
			寿都	22.1℃	+2.6℃	22.0℃(1955)	1884
			苫小牧	21.4℃	+3.2℃	20.8℃(2022)	1942
			浦河	20.3℃	+2.6℃	20.1℃(2022)	1927
		第2位	広尾	21.0℃	+4.4℃	19.4℃(2022)	1958
			札幌	23.8℃	+2.7℃	23.9℃(2021)	1877
			室蘭	21.8℃	+3.3℃	22.4℃(1924)	1923
		第3位	函館	23.3℃	+3.0℃	23.5℃(1876)	1873
			留萌	21.8℃	+2.2℃	22.6℃(2021)	1943
			小樽	22.7℃	+2.5℃	23.3℃(2021)	1943
			紋別	20.0℃	+2.9℃	21.0℃(1978)	1956

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。